クォータの管理

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/storage-mgmt/concept_what_quota_limits_are.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

クォータの管理 . . . 1
Active IQ Unified Manager のクォータ制限について . . . 1
Active IQ Unified Manager でユーザーおよびユーザーグループのクォータを表示する . . . 1
Active IQ Unified Manager でメールアドレスを生成するルールを作成する . . . 1
Active IQ Unified Manager でユーザーおよびユーザーグループ
クォータのメール通知フォーマットを作成する . . . 2
Active IQ Unified Manager でユーザーおよびグループ クォータのメールアドレスを編集する . . . 3
クォータの詳細 . . . 4
Active IQ Unified Manager のクォータプロセスについて学ぶ . . . 4
Active IQ Unified Manager のクォータについて学ぶ . . . 4
Active IQ Unified Manager のクォータについて学ぶ . . . 4
クォータのダイアログ ボックスの説明 . . . 5
Active IQ Unified Manager のクォータダイアログボックスを使用する . . . 5
Active IQ Unified Manager のメール通知フォーマットページについて . . . 5
Active IQ Unified Manager のクォータメールアドレスルールについて . . . 6

クォータの管理

Active IQ Unified Manager のクォータ制限について

ユーザ クォータ制限とは、ユーザのスペース使用量がそのユーザのクォータで設定されている制限値に近づいているかどうか、または到達したかどうかを評価するためにUnified Managerサーバで使用される値です。ソフトリミットを超えた場合、またはハード リミットに到達した場合、Unified Manager サーバはユーザ クォータイベントを生成します。

デフォルトでは、Unified Manager サーバーは、クォータのソフト リミットを超えたユーザーまたはクォータのハード リミットに達したユーザーに通知メールを送信します。また、ユーザ クォータ イベントが設定されている場合も同様です。Application Administrator ロールを持つユーザーは、ユーザーまたはユーザー グループ クォータ イベントの指定された受信者に通知するアラートを設定できます。

クォータ制限は、ONTAP System Manager または ONTAP CLI を使用して指定できます。

Active IQ Unified Manager でユーザーおよびユーザーグループのクォータを表示する

[Storage VM / 健全性の詳細]ページには、SVMに設定されているユーザ クォータとユーザ グループ クォータに関する情報が表示されます。ユーザまたはユーザ グループの名前、ディスクとファイルに設定された制限、ディスクとファイルの使用済みスペース、および通知用のEメール アドレスを表示できます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ > ストレージ**VM** をクリックします。
2. 「健全性：すべてのストレージ VM」ビューで、ストレージ VM を選択し、「ユーザーとグループのクォータ」タブをクリックします。

関連情報

"ユーザの追加"

Active IQ Unified Manager でメールアドレスを生成するルールを作成する

クラスタ、Storage Virtual Machine（SVM）、ボリューム、qtree、ユーザ、またはユーザ グループに関連付けられたユーザ クォータに基づいて、Eメール アドレスを指定するルールを作成できます。クォータに違反が発生すると、指定したEメール アドレスに通知が送信されます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- [ユーザ クォータおよびグループ クォータの E メール アドレスを生成するルール]ページのガイドラインを確認しておく必要があります。

クォータのEメール アドレスのルールを定義して、実行順にそれらを入力する必要があります。たとえば、abcでのクォータ違反に関する通知をEメール アドレス「abc@xyz.com」で受信し、それ以外のグループについてはEメール アドレス「dl-$GROUP@$DOMAIN」を使用する場合は、次の順序でルールを指定する必要があります。

- if ($USER == 'abc') then abc@xyz.com
- if ($GROUP == *) then dl-$GROUP@$DOMAIN

指定したどのルールの条件も満たされなかった場合は、デフォルトのルールが使用されます。

if ($USER_OR_GROUP == *) then $USER_OR_GROUP@$DOMAIN

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**General** > **Quota Email Rules** をクリックします。
2. 条件に基づいてルールを入力します。
3. *検証*をクリックして、ルールの構文を検証してください。

   ルールの構文が間違っている場合は、エラーメッセージが表示されます。構文を修正して、もう一度 **Validate** をクリックしてください。

4. *保存*をクリックします。
5. 作成したメールアドレスが、Storage VM / Healthの詳細ページの「User and Group Quotas」タブに表示されていることを確認してください。

Active IQ Unified Manager でユーザーおよびユーザーグループ クォータのメール通知フォーマットを作成する

クォータ関連の問題が発生したとき（ソフト リミットを超えたとき、またはハード リミットに達したとき）にユーザまたはユーザ グループに送信するEメール通知の形式を作成できます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**General** ＞ **Quota Email Format** をクリックします。
2. 「差出人」、「件名」、「メール詳細」の各欄に詳細を入力または変更してください。
3. プレビュー をクリックすると、メール通知のプレビューが表示されます。
4. プレビューウィンドウを閉じるには、**Close** をクリックしてください。
5. 必要に応じてEメール通知の内容を変更します。

6. *保存*をクリックします。

Active IQ Unified Manager でユーザーおよびグループ クォータのメールアドレスを編集する

クラスタ、Storage Virtual Machine（SVM）、ボリューム、qtree、ユーザ、またはユーザ グループに関連付けられたユーザ クォータに基づいて、Eメール アドレスを変更することができます。Eメール アドレスの変更は、[ユーザ クォータおよびグループ クォータの E メール アドレスを生成するルール]ダイアログ ボックスで指定したルールに従って生成されたEメール アドレスを上書きする場合に行います。

開始する前に

- オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。
- "ルール作成のためのガイドライン"を確認済みである必要があります。

Eメール アドレスを編集すると、ユーザ クォータおよびグループ クォータのEメール アドレスを生成するルールがクォータに適用されなくなります。指定したルールに従って生成されたEメール アドレスに通知を送信するには、Eメール アドレスを削除して変更内容を保存する必要があります。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*SVM*をクリックします。
2. 「健全性：すべてのストレージ VM」ビューで、SVM を選択し、「ユーザーとグループのクォータ」タブをクリックします。
3. タブ列の下にある「メールアドレスを編集」をクリックします。
4. 「メールアドレスの編集」ダイアログボックスで、適切な操作を実行します。

状況	操作
指定したルールに従って生成されたEメール アドレスに通知を送信する	a. 「メールアドレス」フィールドのメールアドレスを削除してください。 b. *保存*をクリックします。 c. F5キーを押してブラウザを更新し、メールアドレス編集ダイアログボックスを再読み込みしてください。指定されたルールによって生成されたメールアドレスは、*メールアドレス*フィールドに表示されます。
指定したEメール アドレスに通知を送信する	a. 「メールアドレス」フィールドのメールアドレスを変更します。 b. *保存*をクリックします。ユーザ クォータおよびグループ クォータのEメール アドレスを生成するルールがクォータに適用されなくなります。

クォータの詳細

Active IQ Unified Manager のクォータプロセスについて学ぶ

クォータには、ソフト クォータとハード クォータがあります。ソフト クォータでは、指定された制限を超過するとONTAPによって通知が送信されますが、ハード クォータでは、指定された制限を超過すると書き込み処理が失敗します。

ONTAPでユーザまたはユーザ グループからFlexVolへの書き込み要求が受信されると、そのボリュームでこのユーザまたはユーザ グループに対してクォータがアクティブ化されているかどうかがチェックされ、次の点が確認されます。

- ハード リミットに到達するか

  到達する場合は、ハード リミットに到達したときに書き込み処理が失敗し、ハード クォータ通知が送信されます。

- ソフト リミットを超えるか

  超える場合は、ソフト リミットを超えても書き込み処理が成功し、ソフト クォータ通知が送信されます。

- 書き込み処理でソフト リミットを超えないか

  超えない場合は、書き込み処理が成功し、通知は送信されません。

Active IQ Unified Manager のクォータについて学ぶ

クォータを使用すると、ユーザ、グループ、またはqtreeによって使用されるディスク スペースやファイル数を制限したり、追跡したりできます。クォータを指定するには、`/etc/quotas`ファイルを使用します。クォータは特定のボリュームまたはqtreeに適用されます。

Active IQ Unified Manager のクォータについて学ぶ

クォータは、FlexVol内のリソース使用量を制限したり、リソース使用量が特定のレベルに達したときに通知したり、リソース使用量を追跡したりするために使用できます。

次のような場合にクォータを指定します。

- ユーザやグループが使用できる、またはqtreeに格納できる、ディスク スペースの容量やファイル数を制限する場合
- 制限を適用せずに、ユーザ、グループ、またはqtreeによって使用されるディスク スペースの容量やファイル数を追跡する場合
- ユーザが使用するディスク容量やファイル数が多いときにユーザに警告する場合

クォータのダイアログ ボックスの説明

Active IQ Unified Manager のクォータダイアログボックスを使用する

「Health: All Storage VMs」ビューの「ユーザーおよびグループクォータ」タブで適切なオプションを使用して、クォータ関連の問題が発生したときに送信される電子メール通知の形式を設定し、ユーザ クォータに基づいて電子メールアドレスを指定するルールを設定できます。

Active IQ Unified Manager のメール通知フォーマットページについて

[Eメール通知の形式]ページには、クォータに関する問題が発生（ソフト リミットを超過するかハード リミットに到達）したときにユーザまたはユーザ グループに送信されるEメールのルールが表示されます。

メール通知は、次のユーザーまたはユーザー グループ クォータ イベントが生成された場合にのみ送信されます：ユーザーまたはグループ クォータ ディスク容量ソフト リミット超過、ユーザーまたはグループ クォータ ファイル数ソフト リミット超過、ユーザーまたはグループ クォータ ディスク容量ハード リミット到達、またはユーザーまたはグループ クォータ ファイル数ハード リミット到達。

- から

  Eメールの送信元のEメール アドレスが表示されます。このアドレスは変更も可能です。デフォルトは、[通知]ページで指定されたEメール アドレスです。

- 件名

  通知メールの件名が表示されます。

- メールの詳細

  通知メールのテキストが表示されます。テキストは必要に応じて変更が可能です。たとえば、クォータ属性に関する情報を使用してキーワードの数を減らすことができます。ただし、キーワードは変更しないでください。

  有効なキーワードは次のとおりです。

  - $EVENT_NAME

    Eメール通知の原因となったイベントの名前を示します。

  - $QUOTA_TARGET

    クォータが適用されるqtreeまたはボリュームを示します。

  - $QUOTA_USED_PERCENT

    ディスクのハード リミット、ディスクのソフト リミット、ファイルのハード リミット、またはファイルのソフト リミットについて、ユーザまたはユーザ グループが使用している割合を示します。

- $QUOTA_LIMIT

  ユーザまたはユーザ グループがリミットに達して次のいずれかのイベントが生成されたディスクのハード リミットまたはファイルのハード リミットを示します。

  - ユーザ / グループ クォータのディスク スペースがハード リミットに到達
  - User or Group Quota Disk Space Soft Limit Reached
  - ユーザ クォータまたはグループ クォータのファイル数がハード リミットに到達
  - User or Group Quota File Count Soft Limit Reached

- $QUOTA_USED

  ユーザまたはユーザ グループが使用しているディスク スペースと作成したファイルの数を示します。

- $QUOTA_USER

  ユーザまたはユーザ グループの名前を示します。

コマンド ボタン

各コマンド ボタンを使用して、Eメール通知の形式に対する変更内容をプレビュー、保存、キャンセルできます。

- プレビュー

  通知メールのプレビューが表示されます。

- 工場出荷時の設定に戻す

  通知の形式を工場出荷時のデフォルトに戻すことができます。

- 保存

  通知の形式に対する変更内容を保存します。

Active IQ Unified Manager のクォータメールアドレスルールについて

[ユーザ クォータおよびグループ クォータの E メール アドレスを生成するルール]ページでは、クラスタ、SVM、ボリューム、qtree、ユーザ、またはユーザ グループに関連付けられたユーザ クォータに基づいてEメール アドレスを指定するルールを作成できます。クォータに違反が発生すると、指定したEメール アドレスに通知が送信されます。

[ルール**]**領域

クォータのEメール アドレスに関するルールを定義する必要があります。ルールを説明するコメントを追加することもできます。

ルールを定義する方法

ルールは実行する順序で入力する必要があります。最初のルールの条件が満たされると、そのルールに基づいてEメール アドレスが生成されます。この条件が満たされなかった場合は、その次のルールへと順番に条件が

評価されます。各ルールは個別の行にリストされます。デフォルトのルールはリストの一番下に表示されます。ルールの優先順位は変更可能です。ただし、デフォルトのルールの順序は変更できません。

たとえば、qtree1でのクォータ違反に関する通知をEメール アドレス「qtree1@xyz.com」で受信し、それ以外のqtreeについてはEメール アドレス「admin@xyz.com」を使用する場合は、次の順序でルールを指定する必要があります。

- if ($QTREE == 'qtree1') then qtree1@xyz.com
- if ($QTREE == *) then admin@xyz.com

指定したどのルールの条件も満たされなかった場合は、デフォルトのルールが使用されます。

if ($USER_OR_GROUP == *) then $USER_OR_GROUP@$DOMAIN

複数のユーザが同じクォータを使用する場合は、ユーザの名前がカンマで区切られた値で表示され、そのクォータにはルールが適用されません。

コメントを追加する方法

ルールの説明をコメントとして追加できます。各コメントの先頭に#を付加して、1行に1つずつコメントがリストされるようにします。

ルールの構文

ルールの構文には次のいずれかを使用する必要があります。

- if (`valid variableoperator *`) then `email ID@domain name`

  ifはキーワードであり、小文字です。演算子は == です。メールIDには、任意の文字、有効な変数$USER_OR_GROUP、$USER、または$GROUP、あるいは任意の文字と有効な変数$USER_OR_GROUP、$USER、または$GROUPの組み合わせを含めることができます。ドメイン名には、任意の文字、有効な変数$DOMAIN、または任意の文字と有効な変数$DOMAINの組み合わせを含めることができます。有効な変数は、大文字でも小文字でも構いませんが、大文字と小文字を混在させることはできません。たとえば、$domainと$DOMAINは有効ですが、$Domainは有効な変数ではありません。

- if (`valid variableoperator` `string`) then `email ID@domain name`

  ifはキーワードであり、小文字です。演算子にはcontainsまたは==を指定できます。メールIDには、任意の文字、有効な変数$USER_OR_GROUP、$USER、または$GROUP、あるいは任意の文字と有効な変数$USER_OR_GROUP、$USER、または$GROUPの組み合わせを含めることができます。ドメイン名には、任意の文字、有効な変数$DOMAIN、または任意の文字と有効な変数$DOMAINの組み合わせを含めることができます。有効な変数は、大文字でも小文字でも構いませんが、大文字と小文字を混在させることはできません。たとえば、$domainと$DOMAINは有効ですが、$Domainは有効な変数ではありません。

コマンド ボタン

コマンド ボタンでは、作成したルールの保存、検証、キャンセルを実行できます。

- 検証

  作成したルールの構文を検証します。検証でエラーが見つかった場合は、エラーのあるルールがエラー メッセージとともに表示されます。

- 工場出荷時の設定に戻す

  アドレスのルールを工場出荷時のデフォルト値に戻すことができます。

- 保存

  ルールの構文を検証し、エラーがなければルールを保存します。検証でエラーが見つかった場合は、エラーのあるルールがエラー メッセージとともに表示されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。